

## 川崎市教員育成指標の改正について（案）

### 1 川崎市教員育成指標

川崎市では、平成29年4月1日に施行された教育公務員特例法の一部改正に伴い、教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき教員としての資質能力を示し、それぞれの教員が、自ら目標を定め、自ら学び続けるための目安とするために、平成30年3月に教員の、平成31年2月に養護教諭、学校栄養職員及び栄養教諭の育成指標を策定しました（別添「参考資料1」を参照）。

### 2 改正理由とその内容

令和4年5月18日に公布された「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」に伴い、令和4年8月31日に文部科学省から「改正教育公務員特例法に基づく公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正等について」が通知されました（別添「参考資料2」を参照）。

同指針の改正において、校長の指標を教員とは別に策定すること、教師に共通的に求められる資質能力の柱として、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応及びICTや情報・教育データの利活用を追加することなどが示されました。

こうした国の制度改正に伴い、この度、川崎市教員育成指標の改正を行うものです。改正の内容は次のとおりです。

#### (1) 教職員育成指標（校長）の策定

人材育成等大きな役割を担う校長に求められる資質能力を明確化するため、指標を教員とは別に定めるもの

#### (2) 川崎市教職員育成指標ステージⅠ～Ⅲ及びステージ0の「教員としての専門的資質・能力」に次の項目を追加

ア 「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」に関すること。

イ 「ICTや情報・教育データの利活用」に関すること。

#### (3) その他所要の整備

ア 「川崎市教員育成指標」の対象には教員のほか学校栄養職員を含むため、名称を「川崎市教職員育成指標」へ改めるもの

イ 文言の時点修正を行うもの

## 【2（3） 其他所要の整備の内容】

ステージ	資質・能力		新	旧	
Ⅰ～Ⅲ	基礎的 資質・ 能力	教職員としての基	教職員としての基礎的資質・能力	教員としての基礎的資質・能力	
			教職員として学び続ける力	教員として学び続ける力	
			人間性を高め続ける	教員としての使命感や熱意、子どもに対する責任感や深い愛情、適切な人権感覚、社会人としての礼儀や規律、教育公務員としての自覚を持ち、それらを <b>主体的</b> に高め続ける	
			自らを律する	健康管理と基本的な生活習慣の維持を行うとともに、法令や規則、時間や提出期限等の順守等、職務遂行のための業務管理及び自己管理を行う	
Ⅰ	教員としての専門的資質・能力	学習指導等	授業を計画・実施・改善する力	学習指導要領を理解し、 <b>指導内容や子どもの心身の発達や学習過程等の実態</b> を把握したうえで、教材を吟味し、身に付けさせたい資質・能力を明確にした授業を計画・実施するとともに、日々の授業を振り返って改善する	
			学習意欲を喚起する	子どもの学習状況や実態に応じて教材や指導方法を工夫し、 <b>主体的・対話的</b> で深い学びの視点から <b>授業改善をし続ける</b>	
			わかる授業を実践する	子どもの学習状況や実態に応じて授業を工夫し、 <b>子どもに「わかる喜び」</b> を感じさせることのできる授業を実践する	
	児童生徒指導等	子どもを理解して育てる力	子どもの <b>心身の発達</b> 段階とその特徴や <b>状況</b> を踏まえ、一人ひとりの個性を理解して <b>他の教職員と連携しつつ個に応じた指導や集団指導を実践する</b>		
		よりよい人間関係を育てる	子どもとの信頼関係や子ども相互のよりよい人間関係を <b>構築する</b>		
		子どもを計画・実施・改善する力	学習指導要領を理解し、 <b>既習事項や子どもの実態</b> を把握したうえで、教材を吟味し、身に付けさせたい資質・能力を明確にした授業を計画・実施するとともに、日々の授業を振り返って改善する		
Ⅱ	目指す姿		ミドルリーダーとして、自らの実践をもとにベテランの <b>教職員と経験年数の浅い教職員</b> をつなぎ、専門性を高めるとともに、自らもチームの一員として成長し続けます。	ミドルリーダーとして、自らの実践をもとにベテランと <b>若手</b> をつなぎ、専門性を高めるとともに、自らもチームの一員として成長し続けます。	
	教員としての専門的資質・能力	学習指導等	学習意欲を喚起する	学習意欲を喚起し、子どもが <b>意欲的に</b> 学ぶことのできる授業を行うとともに、 <b>主体的・対話的</b> で深い学びの実現に向け <b>授業改善し続ける</b> 。また、 <b>校内研究等で実践した成果を共有し、</b> 同僚等と協働的に授業改善を図る	
			わかる授業を実践する	<b>子どもを中心とした「わかる授業」</b> の実現に向けた教材研究・開発等を行うとともに、その成果を校内外の研究等で実践し、同僚等と協働的に授業改善を図る	
	児童生徒指導等	子どもを理解して育てる力	子どもの <b>心身の発達</b> 段階とその特徴を踏まえ、 <b>それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを実践する</b> 。また、教職員で共通理解を図り、チームで対応することの大切さを自覚して、子どもに向き合う	子どもの発達 <b>の</b> 段階とその特徴を踏まえ、 <b>一人ひとりの個性を理解するとともに、</b> 教職員間で共通理解を図り、チームで対応することの大切さを自覚して、子どもに向き合う	
		学校マネジメント	役割と組織を意識して取り組む力	組織での役割や責任を自覚し、 <b>経験年数の浅い教職員</b> への助言や役割同士の連携等を図りながら、よりよい教育活動の実施に参画する	組織での役割や責任を自覚し、 <b>若手教員</b> への助言や役割同士の連携等を図りながら、よりよい教育活動の実施に参画する
	Ⅲ	教員としての専門的資質・能力	学習指導等	授業を計画・実施・改善する力	<b>教職員</b> 相互に高め合う機運を醸成し、授業力向上に向けて、校内研究会等を通して、学校全体での授業改善を推進する
				学習意欲を喚起する	子どもが <b>意欲的に</b> 学ぶことのできる授業を行うとともに、 <b>主体的・対話的</b> で深い学びの実現に向け <b>授業改善し続ける</b> 。また、適切な指導助言や取組を行い、学校全体の授業力向上を推進する
				わかる授業を実践する	<b>子どもを中心とした「わかる授業」</b> の実現に向けた、適切な指導助言や取組を行い、学校全体の授業力向上を推進する
		児童生徒指導等	子どもを理解して育てる力	子ども一人ひとりの個性や <b>状況を多角的・総合的に</b> 理解し、尊重した教育活動が展開できるよう、 <b>教職員</b> への助言や <b>児童生徒理解</b> の充実の工夫を <b>積極的に</b> 行う	子ども一人ひとりの個性を理解し、尊重した教育活動が展開できるよう、 <b>教員</b> への助言や <b>子ども理解</b> の充実の工夫を行う
			よりよい人間関係を育てる	学校教育目標等を踏まえ、 <b>教職員</b> や子どもの状況を把握し、学級や学年への支援や連携を図り、子ども相互、子どもと <b>教職員</b> 及び教職員相互のよりよい人間関係を構築する	学校教育目標等を踏まえ、 <b>教員</b> や子どもの状況を把握し、学級や学年への支援や連携を図り、子ども相互及び子どもと <b>教員</b> とのよりよい人間関係を構築する
			学校マネジメント	役割と組織を意識して取り組む力	教職員が適切に役割を分担しつつ、相互に連携しながら、 <b>学校運営の持続的な改善を支えらるよう、</b> 組織的な取組を推進する

ステージ	資質・能力		新	旧	
0	質・基礎的資	教員として学び続ける力	自ら学ぶ姿勢を持ち、社会の状況を把握し、変化に対応して、 <b>教職員</b> を目指して成長するために学び続ける	自ら学ぶ姿勢を持ち、社会の状況を把握し、変化に対応して、 <b>教員</b> を目指して成長するために学び続ける	
		自らを律する	・自身の健康管理と基本的な生活習慣の維持に努めている ・法令や規則、時間や提出期限等の順守等、自己管理に努めている	・自身の健康管理と基本的な生活習慣の維持に努めている ・法令や規則、 <b>及び</b> 、時間や提出期限等の順守等、自己管理に努めている	
	教員としての専門的資質・能力	学習指導等	授業を計画する力	学習指導要領等を <b>確認し</b> 、学習指導に必要な基礎的な知識について理解するとともに、授業の目標を明確にし、目標の実現に向けた指導展開を踏まえた授業づくりを <b>意識して授業を計画しようとする</b> 子どもが <b>学習意欲を持ち、子どもを中心とした「わかる授業」</b> を実践するために、子どもの学習状況や実態を把握し、教材研究を行う大切さを理解している ・授業計画に基づいた学習指導案を作成することができる ・学習状況を目標に準拠して評価し、それを指導に生かすことの趣旨について理解している ・ <b>子どもの特性等を理解することやそれに応じた指導方法を考えることの大切さを理解している</b> ・ <b>子どもの理解を助ける等のために、G I G A 端末等のICT機器や教材教具を取り入れることが効果的であることを理解している</b>	学習指導要領等、学習指導に必要な基礎的な知識について理解するとともに、授業の目標を明確にし、目標の実現に向けた指導展開を踏まえた授業づくりを <b>行おうとする</b> ・子どもが <b>意欲を持ち、わかる授業</b> を実践するために、子どもの学習状況や実態を把握し、教材研究を行う大切さを理解している ・ <b>子どもの理解を助けるために、ICT等の教育機器や教材教具を効果的に授業に活用しようとしている</b> ・学習状況を目標に準拠して評価し、それを指導に生かすことの趣旨について理解している ・授業計画に基づいた学習指導案を作成することができる
		児童生徒指導等	子どもを理解する力	子どもの発達段階と子ども一人ひとりの実態把握の必要性について理解し、子ども一人ひとりに向き合い、子どもの話に耳を傾け、子どもと一緒に考え行動しようとする ・ <b>子どもとの信頼関係や子ども相互のよりよい人間関係を育てるために、子ども一人ひとりを理解し、一人ひとりを生かしながら、集団として成長させるための指導の大切さを理解している</b> ・ <b>特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性を認め、一人ひとりのニーズに応じた指導を行う必要性を理解し、その方策を考えようとしている</b> ・子どもの個々の教育的な課題を捉え、状況に応じて子どもにアドバイスを与える <b>ことの大切さを理解している</b> ・ <b>情報モラル及び情報セキュリティの基本的な知識を確認し、子どもへの指導方法を考えることの大切さを理解している</b>	子どもの発達 <b>の</b> 段階と子ども一人ひとりの実態把握の必要性について理解し、子ども一人ひとりに向き合い、子どもの話に耳を傾け、子どもと一緒に考え行動しようとする ・子ども一人ひとりを理解し、一人ひとりを生かしながら、集団として成長させるための指導の大切さを理解している ・ <b>障害のある子どもや日本語指導の必要な子ども、不登校の子ども等、特別な配慮を必要とする子どもの個性を認め、一人ひとりのニーズに応じた指導を行う必要性を理解し、その方策を考えようとしている</b> ・子どもの個々の教育的な課題を捉え、状況に応じて子どもにアドバイスを与える <b>よう努めている</b>
		学校マネジメント	組織を意識できる力	学年組織や校務分掌等、学級担任の役割や仕事内容を理解し、組織の一員として行動 <b>しようとする</b> ・周囲の意見を聴き、適切なコミュニケーションを図りながら、集団の中で、協働的に行動することの大切さを理解し、 <b>連携・協働</b> を大事にして行動しようとしている ・学校において保護者や地域等と積極的に関わる <b>ことの必要性を理解し、普段から意識的に行動している</b> ・子どもの安全安心を大切にし、学校で起こりうる危険や問題について未然に考える <b>ことの大切さを理解している</b>	学校組織や校務分掌、学級担任の役割や仕事内容を理解し、組織の一員として行動 <b>している</b> ・周囲の意見を聴き、適切なコミュニケーションを図りながら、集団の中で、協働的に行動することの大切さを理解し、 <b>チームワーク</b> を大事にして行動している ・学校において保護者や地域等と積極的に関わる <b>ことの必要性を理解し、普段から意識的に行動している</b> ・子どもの安全安心を大事にし、学校で起こりうる危険や問題について未然に考える <b>ことの大切さを理解している</b>

### 【本改正の概観】

指標の種類	職名	改正の有無	改正理由とその内容	議案
	校長			
ステージⅠ、Ⅱ、Ⅲ（採用1年目から教頭まで）				
	教員	<b>改正</b>	2 (2)、2 (3)	P. 3
	養護教諭	変更なし		P. 4
	学校栄養職員・栄養教諭	変更なし		
ステージ0（着任時）				
	教員	<b>改正</b>	2 (2)、2 (3)	P. 5
	養護教諭	変更なし		P. 6
	学校栄養職員・栄養教諭	変更なし		

### 3 川崎市教員等育成協議会

平成29年4月1日に施行された教育公務員特例法の一部改正により設置した川崎市教員等育成協議会では、指標の策定のみならず、教職員の資質能力の向上に関すること、大学との連携や教員の養成、採用、研修に関することを協議しています。

令和4年度「川崎市教員等育成協議会」委員名簿

	職名等	氏名		職名等	氏名
1	教育長（会長）	小田嶋 満	11	横浜国立大学 教育学部 教授	杉山 久仁子
2	教育次長（副会長）	池之上 健一	12	鎌倉女子大学 児童学部児童学科 准教授	鈴木 映二
3	職員部長	小澤 毅夫	13	國學院大學 文学部 教授 教育開発推進機構 機構長	石川 則夫
4	職員部担当部長	佐藤 茂樹	14	国士舘大学 文学部教育学科 教授	山室 和也
5	学校教育部長	大島 直樹	15	玉川大学 教師教育リサーチセンターフェロー 大学院教育学研究科 教授	森山 賢一
6	川崎市総合教育センター所長	鈴木 克彦	16	日本女子大学 人間社会学部教育学科 特任教授	宮井 和恵
7	川崎市立小学校長会の代表 高津小学校 校長	西村 勇一郎	17	日本体育大学 児童スポーツ教育学部 教授	橋谷 由紀
8	川崎市立中学校長会の代表 東橘中学校 校長	猫橋 則文	18	明星大学 教育学部教育学科 特任教授	佐藤 公孝
9	川崎市立高等学校長会の代表 高津高等学校 校長	山口 尚史			
10	川崎市立特別支援学校長会の代表 田島支援学校 校長	稲葉 武			